

報道関係各位

2016年3月14日

ウイングアーク1st株式会社の株式取得に関するお知らせ

クラウドソリューションを軸とした新たな事業成長を目指す

グローバルに展開するオルタナティブ投資会社であるカーライル・グループ(日本共同代表:安達保/山田和広、本社:米国ワシントン D.C.、以下:カーライル)は、帳票システム及び企業情報処理(Business Intelligence、以下:BI)システム等の開発・販売を行うウイングアーク1st株式会社(代表取締役社長:内野弘幸、本社:東京都渋谷区、以下:ウイングアーク1st又は 当社)の全株式について、今般、内野弘幸氏およびオリックス株式会社(代表執行役社長:井上亮、本社東京都港区)の子会社である OPI2002 投資事業組合より取得することについて、両株主と最終合意いたしました。本件株式取得の手続きは 2016年4月中に完了する見込みであり、カーライルの国内向け企業投資の第3号ファンドである Carlyle Japan Partners IIIがそのための資金拠出を行います。

ウイングアーク1stは、企業の情報処理及び情報活用を支援する、帳票システムソフトウェア「SVF」、BI ソフトウェアの「Dr. Sum EA」「MotionBoard」等の販売、導入支援、保守サービスを提供しています。主力製品である「SVF」、「Dr Sum EA」は、日本市場でもトップシェアを有しており、その高い技術力と独創性、市場優位性のある製品は、企業における業務処理、情報解析のシーンにおいて、ユーザーから高い評価を得ています。また、今後の日本における企業活動シーンにおいてクラウド化の進展が予想される中で、当社はこれを大きな成長機会と捉え、「SVF Cloud」や「MotionBoard Cloud」といったクラウド環境に適合したサービスの提供を開始しております。

本件に関して、カーライル マネージング ディレクター 日本共同代表である山田和広は次のように述べています。「ウイングアーク1stは、日本の帳票システム及び BI システム領域における優位なポジショニングを活かした事業展開を推進することにより、今後更に成長する可能性を有しています。カーライルは、内野社長を中心とする現経営陣のリーダーシップ、市場における確固たるポジション、および今後の成長性を高く評価し、今般の出資を決断するに至りました。今後、企業活動のクラウド化の進展が見込まれる中、当社がソリューションサービスベンダーとして更なる飛躍を遂げられるよう、カーライルのグローバルな総合力を使って全力でサポートをして参ります。」

また、ウイングアーク1stの代表取締役社長である内野弘幸氏は、次のように述べています。「ウイングアーク1stは、設立以降、「企業の情報活用支援」を事業目的とし、お客様視点に立ち、企業経営を支える情報システムの構築・運用に対して価値あるソフトウェアを提供することで、お客様に貢献してまいりました。

THE CARLYLE GROUP

一方、クラウド時代の到来は、企業の情報活用においても、情報システムの構築方法や活用形態に大きな変革をもたらしつつあります。このような市場環境の下、私たちウイングアーク1stは、今後もお客様と共にさらなる成長を実現するため、今般、グローバルに IT 分野で豊富な実績を誇るカーライルの知見やネットワークを多いに活用し、クラウド環境に適応した情報活用プラットフォームの提供や、ソリューションサービスビジネスの拡大を目指したいと考えています。既存ビジネスの更なる強化とクラウドを軸とする新規ビジネスモデルの確立を加速化し、お客様への更なる価値提供、事業貢献を実現させることを約束いたします。」

【カーライル・グループについて】

カーライル・グループ(CG:NASDAQ)は、グローバルに展開するオルタナティブ(代替)投資会社で、2015年12月31日現在、126のファンドおよび160のファンド・オブ・ファンズを運営し、その運用額は総額で1,830億ドルにのびます。カーライルの目的は、多くが年金基金である投資家のために、賢明な投資を行い価値を創造することです。カーライルは、アフリカ、アジア、オーストラリア、ヨーロッパ、中東、北米、南米において、4つの分野「コーポレート・プライベート・エクイティ」「リアルアセット」「グローバル・マーケット・ストラテジー」「インベストメント・ソリューション」で投資活動を展開しています。カーライル・グループは、航空・防衛、ガバナメントサービス、消費財・小売、エネルギー、金融、ヘルスケア、一般産業、不動産、テクノロジー、サービス、通信、メディア、輸送など、幅広い業界における知見を有しています。現在世界6大陸の36のオフィスに1,700名以上の社員がいます。カーライルは、グローバルに展開するオルタナティブ投資会社の中で唯一、日本に特化した円建てのバイアウト・ファンドを運用しており、これまでにバイアウト・ファンドより国内で21件の投資を実行してまいりました。また、カーライルは、日本の中堅企業の海外展開、事業効率の改善、経営インフラの強化などを支援してきた実績を有します。2015年9月には、日本のバイアウト投資向け第3号ファンドであるカーライル・ジャパン・パートナーズⅢにつき、1,195億円(約10億ドル)のファンド規模により募集を完了いたしました。

ウェブサイト：www.carlyle.com

ビデオ：http://www.carlyle.com/news-room/corporate-videos_new

ツイッター：www.twitter.com/onecarlyle

ポッドキャスト：www.carlyle.com/about-carlyle/market-commentary

報道関係の方からのお問い合わせ先

■カーライル・グループ

広報代理店：オグルヴィ・パブリック・リレーションズ

担当：中山 奈央子、関満 亜美

Tel: 03-5793-2388/5791-8725

E-mail: CarlylePress.Tokyo@ogilvy.com